

授業科目 義肢装具学

【担当教員名】 立石 学		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					
【概要・一般目標：G10】 義肢装具の概念とその歴史を解説し、義肢装具の種類・構造・適応について理解する。また疾患別のリハビリテーションや義肢装具に関する諸制度とその運用についても理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 義肢装具の分類と名称および構造を説明できる。 2. 健全歩行と義足歩行および装具歩行のメカニズムについて説明できる。 3. 義肢装具の適応および義肢装具のアライメントの調整について説明できる。 4. 義肢装具に関連する諸制度について説明できる。 5. 義肢装具の製作過程を説明できる。 6. 義肢装具に関する理学療法プログラムが説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	義肢装具の総論（概論・全体の流れ）			1-6	講義
2	義肢装具の総論（障害との関係・クリニックとチームアプローチ・支給体系）			1.4	講義
3	装具療法とリハビリテーション（定義・目的・種類・構造・適合）			1.2.3	講義
4	疾患別の装具療法と理学療法（脳卒中・脳性麻痺）			1.3.6	講義
5	疾患別の装具療法と理学療法（脊髄損傷）			1.3.6	講義
6	疾患別の装具療法と理学療法（骨・関節疾患）			1.3.6	講義
7	疾患別の装具療法と理学療法（側彎症）			1.3.6	講義
8	疾患別の装具療法と理学療法（糖尿病・リウマチ）			1.3.6	講義
9	義肢療法とリハビリテーション（定義・目的・種類・構造・適合）			1.2.3	講義
10	切断者のリハビリテーション（断端管理・アライメント・理学療法の実際）			1.2.3	講義
11	下肢切断のリハビリテーション			1.3.6	講義
12	上肢切断のリハビリテーション			1.3.6	講義
13	義肢装具の製作方法・靴型装具・インソール			1.5	講義
14	義肢装具の最近の動向			1-6	講義
15	まとめ、採型方法			1-6	講義、実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		理学療法テキスト第 IV 巻義肢装具学	橋元隆、大峯三郎	神陵文庫	2008・4,725 円
参考書		必要に応じて紹介する			
その他の資料		プリント、PC プロジェクター（スライド）、ビデオ			
【評価方法】 出席状況と定期試験により評価			【履修上の留意点】		